

鹿 児 島 大 学

法 学 論 集

第 29 卷 第 1 ・ 2 合 併 号

菊 谷 達 彌 ・ 大 坪 稔 両 先 生 退 職 記 念 号

献呈のことは	岡 部 悟 朗	1
特 別 寄 稿		
労働法と行政法との交錯		
—— 公務員不利益処分の公平審査をめぐって ——	菊 谷 達 彌	5
沖縄の土地問題		
—— 特に所有者不明の土地と管理権との関係 ——	大 坪 稔	49
論 説		
(一九) 三〇年代のフランスについて (一)	平 田 好 成	79
ドイツにおける「会社法上の誠実義務」の展開		
—— W・ヴェルナー説の紹介を中心にして ——	別 府 三 郎	161
物権変動論の動向—— 第三者の主観的要件論を中心に	采 女 博 文	177
「公訴の取消」の再生	指 宿 信	199
指定機関による行政の法律問題		
—— 日本における「私人による行政」手法の法的統制 ——		
.....	米 丸 恒 治	241
判 例 研 究		
暴力団員であった者と婚姻するなどした娘を推定相続人から廃除することの可否		
(東京高裁平成4年12月11日決定、判例時報1448号130頁)		
.....	緒 方 直 人	303
紹 介		
アーノルド・A・ロギー『トマス・ホブズ』(二)	岡 部 悟 朗	319
資 料		
除斥期間と信義則		
—— 最判平成元年一月二日を契機にして	采 女 博 文	341
法学教育管見	中 村 雅 麿	374
菊谷達彌先生略歴および業績目録		375
大坪 稔先生略歴および業績目録		384

鹿 児 島 大 学 法 文 学 部

1994 年 3 月